

## 第2回 浦河町総合計画審議会議事録

開催日時 平成28年10月25日(火) 10時00分～11時30分  
開催場所 浦河町役場 2階 大会議室  
出席委員 19名(早坂誠会長、武田宗務委員、神原大輔委員、菅正輝委員、高村祐太郎委員、遠山寛委員、齋藤善厚委員、富田貴憲委員、濱谷雅樹委員、新保雄司委員、富永孝幸委員、木内稔委員、上新雅人委員、小林孝範委員、津澤静子委員、小林美代子委員、永田善美委員、杉山綾子委員、野上由佳委員)  
欠席委員 5名(小林司職務代理者、土谷進委員、上田正則委員、村下知宏委員、三浦敦子委員)  
浦河町出席者 3名(柳谷企画課長 葛西企画課主幹 荒木企画課主査)

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 審 議

(資料1：第6次浦河町総合計画後期5カ年計画事業評価について事務局より説明)

【A委員】 事業評価の集計を見ると、◎○△が各項目によってすごくばらつきがあるが。

【事務局】 これはあくまでも集計表なので、個別の事業評価を見てほしい。

【B委員】 評価は誰がつけたのか。

【事務局】 指標に基づき、事務局でつけた。

【B委員】 指標って根拠ある数字なのか。

【事務局】 統計資料や実績に基づいた数字を使用。例えば1ページ目の農業の振興であれば、農業従事者数は減っているが、新規就農者数は増えているということで○とした。違う見方をすると、新規就農者数は増えているが、農業者数がこれだけ減っているから△ではないかという意見もある。あくまでも指標から、従事者は減っているが新規就農が増えているということで○とした。

【B委員】 39ページ5-4住宅住環境の整備について、住宅新築リフォーム等緊急支援補助事業があるが、ハウスメーカーで建てる人が多いような気がする。浦河の新築リフォーム等緊急支援補助では、工事費300万円以上で補助額が30万円子ども一人につきプラス10万円のはず。例えば近隣町では請負金額の5パーセントで100万円が上限なので、もう少し拡充してほしい。どちらかというとりフォームが多いのかもしれないが、新築を地元の業者さんにやっていただくメリットとしては、若干隣町よりは少ない。

新築数が年間どれくらいかわからないが、その中で2件というのは少ない。このところ低金利ということもあり、新築の着工が増えているようにも見うけられる。やはり地元の業者を使いたい思いもある中で、もう少し拡充と宣伝が必要。

【C委員】 1-1農業の振興について、農業従事者数は、純粹に畑作、野菜、施設園芸だけの人数か？

【事務局】 農業センサスの農業従事者数なので全て含んでの数字。

- 【C委員】 軽種馬と酪農も含んでこの数字であれば見方的には難しい。純粹に野菜、施設園芸農家は、元々が少ないので、そこまで減っているとも思えない。
- 【事務局】 逆に野菜や畑作は、4ページ目の耕種になる。
- 【D委員】 2ページの軽種馬関係で、離農が多い現状の中、評価の中で複合、転換をおこなった農家が多かったようだが、この要因は？次の計画では、どのような方向で考えているのか。
- リフォーム補助金もそうだが、やはり地元の業者の育成という面で、ハウスメーカーじゃなくて、地元の業者を使えば雇用の創出も生まれるし、維持も繋がっていく。そういう面なるべく町や建設協会が連携しながら、地元業者を使い、雇用を生むという流れにしていければと思う。
- 【事務局】 軽種馬の複合・転換については、担当者としては、その流れがひと段落したという見方。平成23年から後期5か年の間には、転換・複合がなかった。実際に軽種馬に従事されている方の見方は？まだ制度としてあった方がよいと思うか？
- 【E委員】 最近、まわりで複合・転換するという人はいない。それよりは廃業が多い。肉牛の値段が上がっており、投資が高い。
- 【事務局】 牛の値段が下がってくるとやる人も増えるか？
- 【E委員】 牛の値段が下がると、販売価格がたぶん下がるので、利益も少なくなる。
- 【事務局】 これからやろうという人はまわりでは聞かないか。
- 【E委員】 今はいないが、徐々にかえていこうとする人はもしかしたらいるかもしれない。
- 【C委員】 いちごの産業が始まったのが平成15年で、今年初めて軽種馬からの転換をめざす人が出てきた。個人的な感想だが、今までのこの十年間はおそらく静観していたと思う。複合・転換作物として、いちごの産業は元々始まった経緯があるが、これまで様子を見ていたのではないかというのが、個人的な感想。3年前、浦河町のいちごが生産量日本一っていうことで、浦河町が大々的にPRしてくれているので、その中でいちごって今順調なのだと、段々と既存の農家さんにも知れ渡った。実際転換する方は少ないが、今までは町外道外から就農する方がほとんどだったのが、二年前から町内の方が就農希望をだしてくれるなど、転換ではなく、既存の農家さんの後継者がUターンして就農するというかたちが増えている。
- 【F委員】 軽種馬について、軽種馬農家数の中に育成場はカウントされているか？
- 【事務局】 育成はカウントしてない。現状の数は把握できるが、過去にさかのぼって比較する数字がない。
- 【F委員】 農家の数は減少していると思うが、育成場の数や従業員数も評価に加えた方がよい。
- 【会長】 今、みなさんから数多くの意見をいただいた。非常に前向きで、特にいちごについては、軽種馬からの転換もこれから増えるのかなというのものもある。反対に他の農家の方は減少というリスクも含めながら、今後、まち全体で考えていくために、これからの第7次の計画に少しでも盛り込んでいけたらと思う。
- 【事務局】 評価がこれでいいということであれば、これで確定したいが、ここの評価は○ではなく△ではないかという意見があれば再度検証する。
- 【G委員】 4ページの農林業被害の防止について、エゾシカの処理頭数は25年をピークに減少となっているが、処理頭数の減少でシカは増えている状態なのか。

【事務局】 エゾシカによる被害額自体は減少傾向。町としては、これまでの対策の効果が出ているという見方。

【G委員】 牧場には、シカと馬が一緒にいる。個人的に野菜をつくっているところもシカがたくさん来ているようだが、頭数は減っているのか？

【H委員】 エゾシカライトセンサスでは減っているが、農業被害が後を絶たないということで、振興局などでは、農家の方たちも財産を守るため、わなのしかけ方の出前講座もやっている。

【G委員】 無料で借りることができるのか？

【事務局】 わなをしかけるには資格をとらなければならないので、資格取得に町として助成している。まだ、町の宣伝が足りないと思うが、そういうこともやっている。シカの数までは全部把握はできないが、電牧をつけたり猟友会の方々が駆除したりなど、被害としては減っているが、ゼロではないので、そこは○しかつけられないと判断した。

【G委員】 狩猟期間はシカも少なくなっているが、期間が終わると増えているという感じで聞いている。アライグマはどうなのか？

【事務局】 アライグマなども、町でわなを貸し出している。許可を持った職員が箱わなをしかけて、実際にアライグマなどを捕獲しているので、農林課に相談してほしい。

【会 長】 G委員の中では、これは○ではないのではという考えですか？

【G委員】 エゾシカが減っていないという状況なので。

【事務局】 評価は△だということですね。

【事務局】 たしかに一億円もまだ被害あるだろうといわれると。

【I委員】 地域おこし協力隊が主催している「うらかわを食べる会」に参加したとき、テーマがシカ肉で、有害駆除のシカは廃棄されているので、なんとか有効活用できないものかという話になった。

様似のハンターさんから聞いた話だが、シカも頭がよくなって、出てこなくなったようだ。見た目の頭数は減っているけど、実際はよくわからないと。ハンターさんも高齢化している部分と、とってすぐに食肉処理をしないと、食用にするのはなかなか難しいようだ。山の幸として、その有効活用がもっとできると、日高管内はシカっていうイメージもあるので、そこを有害駆除から食材へどうやってもっていくかというところを町と道と一緒に連携とってやってもらえるといい。

【会 長】 シカ肉をうまく活用できれば、非常によい効果が起きるというのをよく聞きますので、そういうのはまた可能であれば。多分処理が大変なようだが。

【I委員】 工場がないので。

【会 長】 聞く話によると、シカをしとめるのも、頭を一発でいかないと、もう肉にならないという話を聞きますので、そういうのを含めて、また今後検討してほしい。

【H委員】 日高管内のエゾシカ被害対策協議会があり、各町長が集まってその対策を話している。そんなところで確実にこの話が進んでほしい。

【会 長】 そういう集まりの中で、ぜひ報告をしていただきたいと思う。

【事務局】 エゾシカ被害の評価について、みなさんの意見としては、○なのか△なのか、この場でみなさんの客観的なご意見をいただきたい。

【H委員】 以前はだめだったが、メス鹿も撃てるようになった。それで少しは減っているが、2頭、3頭産むシカもいる。

【事務局】 感覚的には減っていない？

【H委員】 △かなと。

【会 長】 いろいろシカについて意見がでてきたが、課題も多いということで、評価を△に変更。その他ご意見は。

【I委員】 22 ページの子育て支援の充実について、浦河は幼児期から就学前までの子育て支援は、とても手厚いと思うが、小学校に入ってから、各学校の学童保育の年齢の子たちの居場所づくりにもう少し力を入れてほしい。東町はふれあい会館が学童保育の場所にはなっているが、単に登録して行くだけという感じ。支援員の先生も3人いるが、もうちょっと増やしてほしい。ただ来て終わりで、親への連絡等がないと思う。前に、どしゃぶりのときに学校から子たちがずぶ濡れのまま行って、着替えもないようなので。学童保育として、放課後親代わりじゃないが、お仕事をしているお父さんお母さんが6時に迎えに来るまでの場所として、もう少し働きやすいようになれたらいいと思う。

【会 長】 課題があるということで、この項目についてもいまのところ、△の方がいいのではと？

【I委員】 そう思います。

【J委員】 評価は実際、数的には○が一番多くて、◎が一番少なく△がその次ということで、7次計画に反映するときに、△のところはまだ手が薄いから、そこを厚くしようという意味で、今6次の評価をしているのか？

【事務局】 子育てでいうと、他の町村よりもいろいろやっているが、ただ満足度が上がらないというのは、やり方が悪いのか、何が悪いのかという部分をきちんとおさえなければ。町としてはやっているということではなく、客観的に見て浦河でどうなっているのか、このように意見をいただいて、それを次の事業に反映させたい。でなければ、目標に向かって行けないなどという部分がある。みなさんが客観的に見て、甘いのではと言われれば、何が悪いのか考えなければならぬ。

【J委員】 そういう意味では、○がついていても、良かったことも悪かったこともあり、相対的に見れば○をつけていたけども、悪かったことが非常に大切なことであれば、そういうことも△にするということもあり得ると考えていいのか？

三段階評価なので難しい。項目によっては、良かったこと、悪かったことを比べれば○。だけど、この△は重要、ということがあると思う。そういう観点でみると、今○はついているものの、7次においてここは重要なところだと、どうしても拾わなきゃいけないということであれば、△にして、7次で重点的な項目にしようということもあるのかなと思ったのだが。

【事務局】 事業として、相対的にどうなのかと。これは△じゃないかと言われると、△だろうと。○の中にも、あまりにも細分化すると、難しくなってしまうので、単純に三つにした。○の中でも限りなく◎に近いもの、限りなく△に近いものもある。ただ、これは相対的にみたら、○にしていいのではという部分もある。段階的にできればいいが、できなかったので、これは重要なところだから△だと言われれば、△にして、そこをどうすると。○の中でも、項目でみると、児童館の部分は意見を聞いたので、そこは次期計画に反映したいと。そういう目

で見ていただきたい。

【会 長】 評価を出されてからの評価なので、最初からもしかしたらわかるところだけ、個々に評価してもらってそれを役場の方で整理して出してもらおうというのが、もしかしたらよかったのかなど。今回のようにある程度、役場の方で指標を受けて評価しているので、今事務局が言ったように相対的な評価というかたちになっているが、その点でさきほどでたように、ここは○ではなく△だというような意見を、課題として次期につなげてほしいと特に強く思う部分があれば、出していただきたい。

【事務局】 この後、基本構想（案）を示すが、そのあとに基本計画というのがあり、その中で個々のものが、こうしていきたいというのがでてくる。その中に今回の意見を盛り込んで、前に進む部分については、協議させてほしい。今回は、6次計画が終わって今の浦河について、みなさんの目で見てどうなのかと。

【K委員】 子育て支援の充実に関しては、すごく幅広い内容での評価ということなので、さきほど今後の対策として、非常に重要なことは言われていたと思うが、28年度からはすくすく子ども券が年齢拡大したり、認定子ども園が2か所になったりという意味では、私の評価は○でいいのかなと思う。次につなげる意見があったということで、評価としてはこのままで、児童館の意見があったから、じゃあ△という評価にはならないかなと聞いていて思った。

28ページの子どもを取り巻く環境づくりについて、評価としては○だが、保護者の喫煙率は全国平均より高い、子どもの消灯時間は遅くなっている、でも朝食摂取率は上昇しているので○になっているところがある。朝食摂取率の調べも1歳6か月児と3歳児に限定されていて、この未就学児は親が手をかけてあげるので、朝食を摂取しているのであって、家族みんなが健康で明るく家庭生活が送れるというのであれば、子どもは小学生も中学生も高校生も入ってくる。それを除いての評価はちょっとどうかと。年齢が上がると、就寝時間もすごく遅く、朝も起きるのが遅いので、朝食摂取率もすごく低いと思うが。

【事務局】 保健センターでおさえている未就学児のデータを使用した。だが、確かに言われるとおり、小中学生の朝食摂取率についても重要ではないかというのは理解できる。

【K委員】 「この年齢に限っては」など一言添えたらいいのでは。

【会 長】 K委員、子育て支援の充実に関してだが、それも含めて○となっている評価については、そのままで？

【K委員】 この年代に限ってはということで。子どもとなると小中高生含めた子ども全部になってしまうので。

【会 長】 未就学児だけではなくて、もし就学児のデータもあればまたよりよいデータができるということも含めて今回は○で。

【D委員】 施策2の豊かな心を育むまちづくりについて、評価集計では評価が低く、◎が少ないのかなという印象。青少年健全育成については、自治会ごとで温度差があると思うが手厚いと思う。◎が一個というのは、評価が低いかなという印象を受ける。

【事務局】 客観的に見ると、がんばっていると思うが、生涯学習に関するアンケートの満足度が28%という数字なので、そこは受けとめなければならない。やっではいるが、PRが悪いのか、そういう部分を含めて。

【I委員】 アンケートは抽出？

【事務局】 そうです。アンケートの結果でこのような数字がでてきた。違う見方をすれば、がんばっているのに◎でもいいのかなという思いもあるが、町民は満足してないという部分があるので、そこは課題にしながら、どのような要因かというところで、今後つめていきたい。

【I委員】 アンケートに理由を書くところはないのか？何が満足してないかとかわからないままでは。

【事務局】 アンケートの中でそれをやると、回答が返ってこない恐れが多々ある。書いていただける方もいるが、○をつける部分については回答してくれるが、意見を書くところが多くなると、アンケート自体やっていただけないということがある。

【I委員】 ○の下にカッコだけというのは。

【事務局】 最後に意見を書く欄を設けた。特にまちづくりに関してのアンケートは、すごく設問項目が多くなる。色々分析したい思いはあるので、次回に活かしたい。

【会 長】 今日の段階でも、かなり行政の方でやるが多々あるとは思いますが、さきほどのみなさんの意見をふまえて今回の資料の中身の変更というのは、子育ての部分で△にした方が良いという意見もあったが、そこは課題として次回につなげるということ。

【I委員】 今回は○にして、意見を次につなげてもらう。

【会 長】 シカの部分については、問題点が多いということで、今回残念ながら△。

評価については、この部分だけ変更という形でよろしいか。○がついていても、さきほどでてきた課題については、今後検討するというごことをお願いしたい。それでは、6次の意見については、これで終わりにする。

次に、第7次の総合計画の基本構想(案)について、事務局から説明をお願いします。

## (資料2：第7次浦河町総合計画基本構想(案)について事務局より説明)

【D委員】 政策4、認識不足かもしれないが、自治基本条例というのは、浦河町で制定しているのか。

【事務局】 制定はしていない。現在、どうするかということで、調査・研究している段階。

【D委員】 それを盛り込む予定はない？基本スタンスにもとづいて、町づくりを進めていくという。やっている自治体もありますよね。

【事務局】 勉強しているが、必要かどうかということを含めて町民と一緒に話し合いたい思いはあるが、「制定する」ということまでは記載できない。ただ調査・研究したいという思いはある。今回は基本構想なので、まず将来像を全体の目標として定めたいため、これについて意見をいただきたい。今回はこの4つの柱にしたいという部分でどうなのかなと思いますので、そこをまずみなさんに審議していただきたい。

【I委員】 審議会の流れですが、今回大きな将来像、イメージ、そのあとにこれから細かいところをみていくという流れでいいか。

【事務局】 今回、この4つの柱でいいということであれば、その中から項目ごとにこのようにしてい

くという基本計画がでできます。

【L委員】 前計画の六本から減らした二本ってなんですか？

【事務局】 減らしたというより、集約して6つを4つにまとめたようなかたち。

【L委員】 前回と今回で大きな変更点は？

【事務局】 一番の大きな変更点は、前回の計画でいくと、産業振興を全面にだしてきたところがあるが、今回は人づくり、人があってのまちづくりということで、人づくりを前面に持ってきたところが前回との違い。

人口が減少する中で、生産年齢人口も当然減っていく。そうすると人の奪い合いがでてくるので、子どものうちから、ふるさと郷土愛をはぐくんでいけるような取り組みをしていきたいというような基本構想になっている。

【J委員】 私がいろいろ受けた研修の中で、このようなものをまとめるときは3つか5つの柱にしろというのがあって、その中で4つというのは自分的にはちょっと落ち着かない。この4つの中では最後の「みんなでつくるまちづくり」がちょっとぼけている感じがする。6つを4つにまとめたということだが、6つあったのであれば、5つにするか、思い切って3つにまとまらないかなというような気がする。それは、構造上、つくりかたなので、ご意見もいろいろあってどうしても4つじゃなきゃいけないということであればと思ったが、「みんなでつくるまちづくり」が、どこかに入れられるのではないかなと。

【事務局】 みんなでつくるまちづくりは、全部にかかわることです。

【J委員】 そういう意味では、この上の3つと比べると、少し毛色が違うかなという気がする。

【I委員】 上にきそう。将来像の下にきて、他の3本がきてというイメージが。

【J委員】 かもしれない。4つある中では。

【A委員】 企画課の人のやさしい気持ちだったと思う。今までの反省を踏まえて、第1に人を育てるまちづくりをして、最後にきちんとみんなでつくるまちづくりという、そういうリレーみたいなものがあつたと思う。最後にはそういう締めをして。最初の第1に入れるっていうのも一つの考えでいい。その気持ちはわかる。それを理想としてやりたいという意思表示かなと。それはすごく理解できる。

【事務局】 今回で決めようとは思っていないので、3回4回でもやりたいなど。今後10年間の計画なので。みなさんが納得していただけるまで。

【A委員】 決めていただいた方が次に進めるというか、進みやすいというか。持ち帰ってまた。

【事務局】 作り方の手法だが、個別事業があつて、このような将来像をめざすということじゃなくて、この将来像をめざすために今ある事業をどうしていくという考え。向かう将来像によって、政策の順番や部分も変わってくるので、大方アウトフレームを決めてから、個別事業を出さないと、個別になったら政策的には将来像をめざすが、結局事業に特化していくことになる。まずはみんなで共有するとしたら、こういうのがいいという部分のアウトフレームだけは決めておきたい。それに対して、足りない部分があつたり、バージョンアップする部分があつたりと思っているので目標をまず決めたい。

【B委員】 逆に、将来像についてみなさんどう考えているのかというのを問いかけた方がいいのでは？

【事務局】 この基本構想（案）をたたき台にして、皆さんの思いを出してほしい。

- 【F委員】 政策3の活力を生み出すまちづくりで、ひっかかるのが「稼ぐまち」をめざすとあるが、よくよく読んでいくと外貨を稼ぐために、観光振興とか積極的に推進して、稼ぎつつ地域外への所得流出を防止のために地域に密着した魅力ある振興とかを図るとある。これには浦河のよい素材を地域外の人にアピールするということが含まれていない。
- 【事務局】 PRすることが必要だと？
- 【F委員】 せっかくだが資源があるのに、アピールするってこと、10年間のそういう基本構想みたいなものが必要だと思う。これだと地域に留まって、ただ受け入れて、出ていくのは無視するみたいな、せまい町になってしまうのかなど。
- 【会 長】 3つにした方がいいのか、4つにした方がいいのか、もっと細分化した方がいいのか、とりあえず今回については4つの柱と言うことで、次回までにうしろに書いてあります施策の基本計画を。
- 【事務局】 基本の将来像を話し合っていて、極端な話、うしろはそれにあわせてつけるので、いろいろ重要なのはこの将来像の部分。ここを十年後にめざそうということをおなさんと共有したい。
- 【J委員】 将来像の「いつまでも住み続けたいまちうらかわ」について、おなさんのお意見を聞きたいが、前向きだといえば、前向きだが、町から出て行くなというような、ネガティブなイメージを受ける。来てほしいというようなウェルカムな感じがなく、今いる人が少しでも出ていかないためにどうするとか。
- 【事務局】 理念としては、住んでいる人は住み続けたいというのはあるが、やはり高校を卒業して大学が浦河にないので、ほぼ出てしまう。そのあとにやはり住み続けたいまちになっていけば、スキルを持って浦河に戻ってきてほしいという思いがあり、そういう意味合いも含めて書いた。言われるとおり、ただ住み続けたいのかと言われれば、そこは弱いかなど。そういう意味合いも含めて。
- 【J委員】 その辺のニュアンスがちょっと、戻ってきてもらいたいというより、どうしてもでていくなよという感じがする。高校卒業してある程度の年になったら一回は出ていくが、その人がまた帰りたくなる、そしてやはりいろいろ見てきたけど、ここ浦河が一番いいという風に思えるようなコピーの方がいいのではないかなどと思う。このコピーではそれが伝わらないかなどというのが個人的な意見。
- 【会 長】 非常に難しい。言葉ひとつでかなり違ってくるものがあると思うが。
- 【M委員】 関連することだが、医療職を集めるにしても、やはりまちの魅力というのが非常に大事。看護師は管外の高校生を集めて、なるべく要請していこうという考えをもっているが、そう簡単にはいかない。看護師だけじゃなくて、色々な医療職がある。管内には養成校がないので、どうしても札幌中心としたところから、まずはこの町で働きたいと思うかどうかというところがスタート。
- 医者にしても大学の派遣で来て、ある意味、強制的に配置されてくる。アクセスの問題もあり、フリーの先生はまず来ない。高校卒業して一回出た人が戻ってくるには、来てもいいかな、行ってみたいなという環境を作ることが必要。最終的には働く場所がしっかりしていないとだめだと思う。



若い人は生活も楽しくなさいけない。そう簡単にはいかないと思うが、ここで一旗あげようかというような人材を育てるというのもひとつ。そういうのを奨励、支援する取り組みも必要。人を集めるのに非常に苦勞している身としては、そう思う。正直、若い人は楽しい感じがな。この町に行くと楽しい、生活し甲斐があると、そういうのをめざしていくことの方がいい。

【I委員】 私は一回浦河に住んで、Uターンしてきたが、浦河の何がよかったかというと、まちの人とつながったこと。活力を生み出すまちづくりで、外国人観光客を誘致すると書いてあるが、住んでいる人たちが一番楽しく元気よく住みよいまちになったらいい。私もここに帰ってくるときに、今浦河が好きだから、元気な浦河に帰ってきたいと思えるまちづくりの手助けを、なにか自分でできないかなという気持ちがあった。住んでいる人がいきいきできるまちというのが一番私の理想なまち。

イメージとしては、いつまでも元気なまち、帰ってきたいまちをめざすっていうのを書いてもらえれば私はうれしい。住んでいる人たちが楽しく住めるまちにするには、まちの活性化、そういうのがベースになると思う。

【I委員】 政策4の「みんなでつくるまちづくり」について、最終的にこういう風なことができるような人を育ててっていう流れで、最後4に持ってきたとあるが、今の大人たちが町民、行政、議員さん、議会という、そのみんなでつくるまちづくりがあって、これからの子どもたち育てて、最終的に、育った子どもたちみんなでつくるまちづくり、全体でなってくるという意味でとらえた。

【事務局】 素案冒頭の基本構想の目的にも書いてあるが、町民と行政一体となって進める、まさに最初に協働については触れてはいる。そもそもこの計画自体が協働で進めるための計画なので、それで最後にもう一度みんなでやりましょうという流れにはなっている。あくまでも大前提が協働ですすめるまちづくりというところは変わらない。

【M委員】 逆に言うと、柱を3つにして、柱の中に4を必ず頭にくっつけておく、これらを進めるのは4ですよという風にしていけば、全て網羅されていくと思う。

【会 長】 4というのは全体にかかってくると思うので、組み込んでいったらどうかという意見があったが。

【H委員】 基本計画の1・2・3は全て集合したうえで、いきいきと輝けるまちをトップに置いた場合、若い子たちもみんな浦河に帰って来て、お年寄りだっていきいきと輝けるまちを、将来としてはそういったコピーの方がいいような気がする。

【会 長】 将来像について、さきほど、いきいきと輝けるまちという風にでてきたが、その他の意見があれば出してもらい、その中から将来像というかたちで位置づけていきたいと思う。

【I委員】 町のホームページでもし若い人が見た時に、住み続けたいというのは今ここにいる人たちの目線であって、まちがどうありたいかというのは、住んでいる人もみんな元気で楽しく、元気な町という方が。

【J委員】 I委員が言った、やっぱり住み続けたいまちというのは、どうしても今いる方もっていうイメージが限定的になってしまうことがあるので、もう少しまち全体の進む方向性をあらわす言葉の方がいいというご意見のもとでコピーに関しては、もう一回再考ということで。

【M委員】 次回までいくつかだしてもらい、どれにしましょうかってやった方が。

【事務局】 実際にいくつか案があって、課内で意見を聞いてこの案にまとめたが、いきいき輝くというキーワードの将来像はその中にはあった。

【事務局】 理念としてはここに書いていることがみなさんに理解いただけたので、これをコピーにすることなので、次回、三つくらい案をつくってみなさんで決めていただくということではよろしいか？

柱についても次回までにこれを入れた方がいいのではというものをいただければ。基本構想にある程度のもので書き込んでおきたい。理念だとか、そういうものを入れていきたいと思う。ここを手厚くしたいので、みなさんのご意見をいただきながら、やっていきたいと思う。

#### 4. 閉 会